



VOICE（仙台版）調査レポート

仙台市青葉区本町3丁目2-26
株式会社 東日本リサーチセンター
代表取締役 佐藤 彰男

平成 27 年「お歳暮」に関する調査

当社では、日頃より“地域の生活者の意識・実態”について各種調査を実施し、地域に根ざした情報発信を行っております。

一般に、日本の慣習である「お歳暮」について、マスコミ等では、毎年売れ筋商品や価格帯等が発表されています。

そこで、当社では、当社の仙台市民 1,000 人の消費者モニターを対象に、平成 27 年「お歳暮に関する調査」を実施しました。この調査は、お歳暮に関する動向を把握するために、平成 13 年から行っているもので、今回の調査で 15 回目となります。

このたび、その調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

調査実施概要

1. 調査対象および回収状況

○調査対象者（仙台市内に居住する当社の消費者パネルモニター1,000人）

○回収状況（対象数 1,000 サンプル、回収数 1,000 サンプル、回収率 100.0%）

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
男性	20代	20	20	20	20	20	100
	30代	20	20	20	20	20	100
	40代	20	20	20	20	20	100
	50代	20	20	20	20	20	100
	60代	20	20	20	20	20	100
女性	20代	20	20	20	20	20	100
	30代	20	20	20	20	20	100
	40代	20	20	20	20	20	100
	50代	20	20	20	20	20	100
	60代	20	20	20	20	20	100
合計		200	200	200	200	200	1,000

2. 調査方法

○留置調査法（訪問留置、訪問回収）

3. 調査実施期間

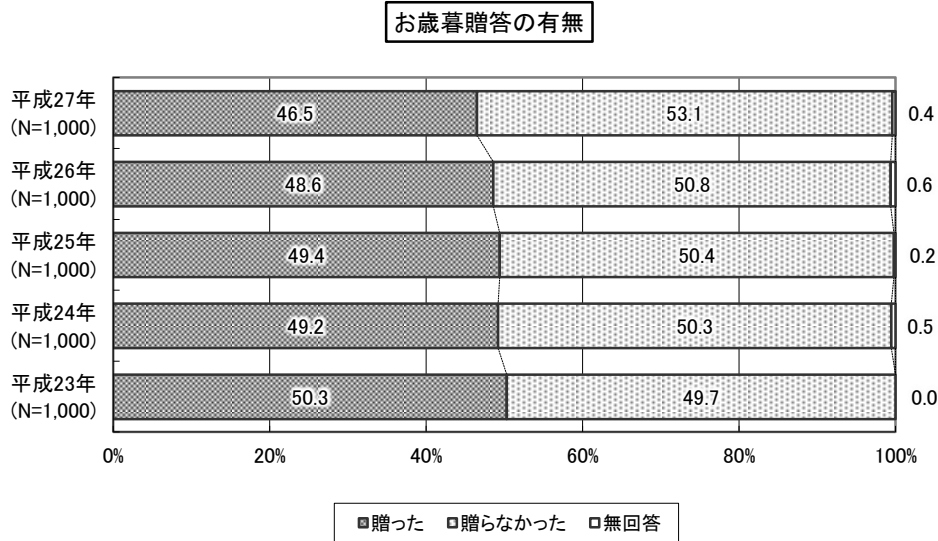
○平成 28 年 1 月

1. “お歳暮”の贈答の有無（単数回答）

“お歳暮”を贈る家庭は、調査開始以来、最低の46.5%となる。

○平成27年の“お歳暮”は、「贈った」家庭は、平成13年の調査開始以来、最低の46.5%となった。なお、「贈らなかった」家庭は53.1%となっている。

○ここ5年間で比較すると、「贈った」家庭は漸減傾向にある。

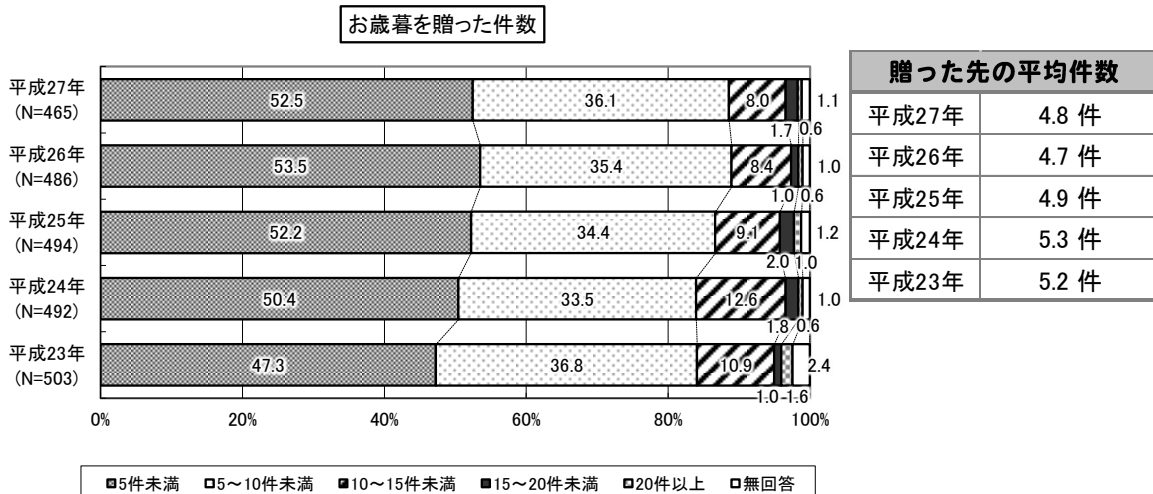


2. “お歳暮”を贈った件数（数量回答）

お歳暮を贈った先の平均件数は4.8件と、5件を割っている。

○平成27年に“お歳暮”を贈った、と回答した465世帯の、贈った先の件数は、「5件未満」が最も多く、52.5%と5割を超えている。

○平成27年にお歳暮を贈った先の平均件数は、4.8件となっており、最低の件数となった昨年の4.7件より、わずかに増加している。



3. 贈った“お歳暮”、もらってうれしい“お歳暮”（複数回答）

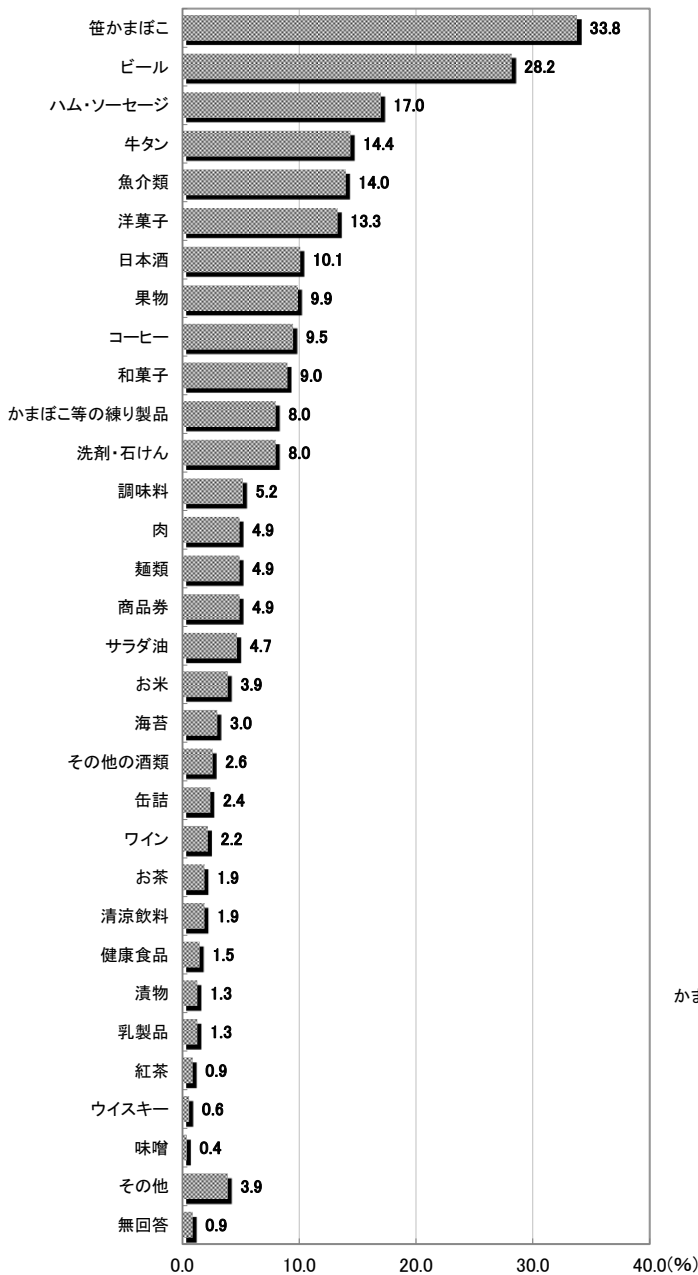
贈った“お歳暮”の第1位は「笹かまぼこ」で33.8%。

○平成27年に贈った“お歳暮”の上位3位は、第1位が「笹かまぼこ」（33.8%）で、唯一3割台となっている。次に、第2位が「ビール」（28.2%）、第3位が「ハム・ソーセージ」（17.0%）の順となっている。

○一方、平成27年のもらってうれしい“お歳暮”の上位3位は、第1位が「商品券」（46.5%）、第2位が「ビール」（41.4%）、第3位が「ハム・ソーセージ」（34.3%）の順となっている。

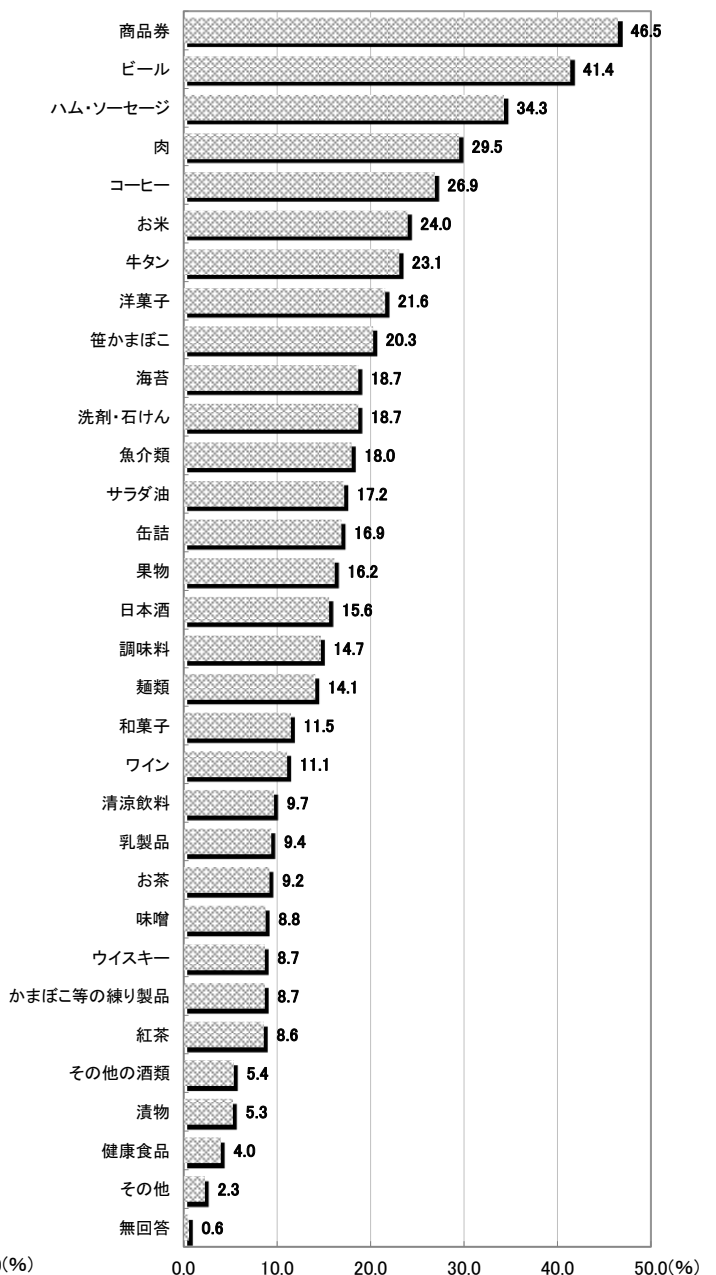
【贈ったお歳暮】

平成27年：N=465



【もらってうれしいお歳暮】

平成27年：N=1,000



(参考) 贈った“お歳暮”、もらってうれしい“お歳暮”

経年比較

贈った“お歳暮”の上位3位は、平成25年調査、平成26年調査に引き続き「笹かまぼこ」、「ビール」、「ハム・ソーセージ」の順となる。

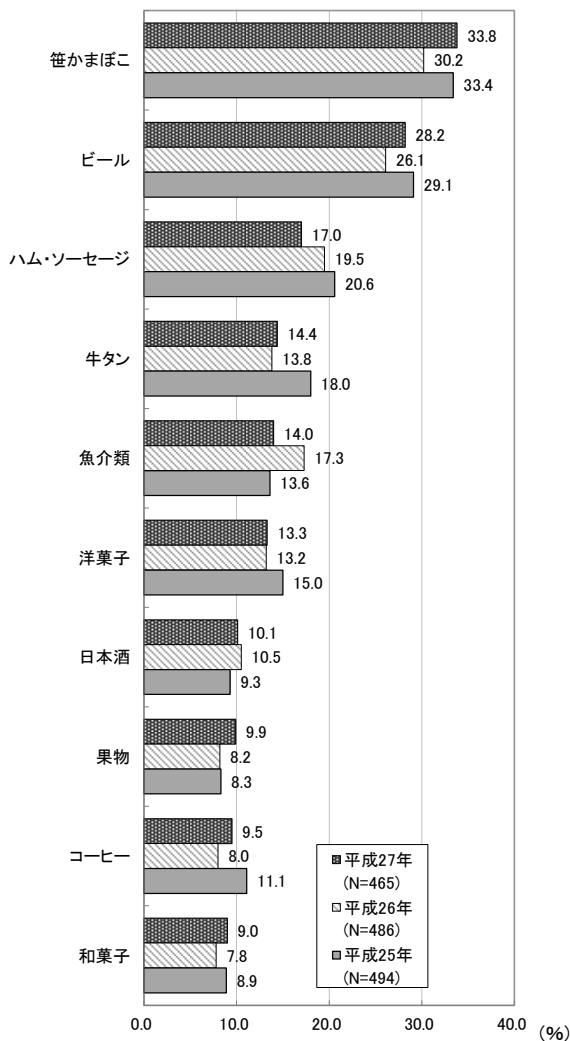
○贈った“お歳暮”の上位3位は、平成25年調査、平成26年調査に引き続き、第1位が「笹かまぼこ」、第2位が「ビール」、第3位が「ハム・ソーセージ」となっている。

○贈った“お歳暮”について、「牛タン」は、平成26年調査では第5位であったのに対し、今回調査（平成27年）では0.6ポイント増加し、第4位へと順位を上げている。

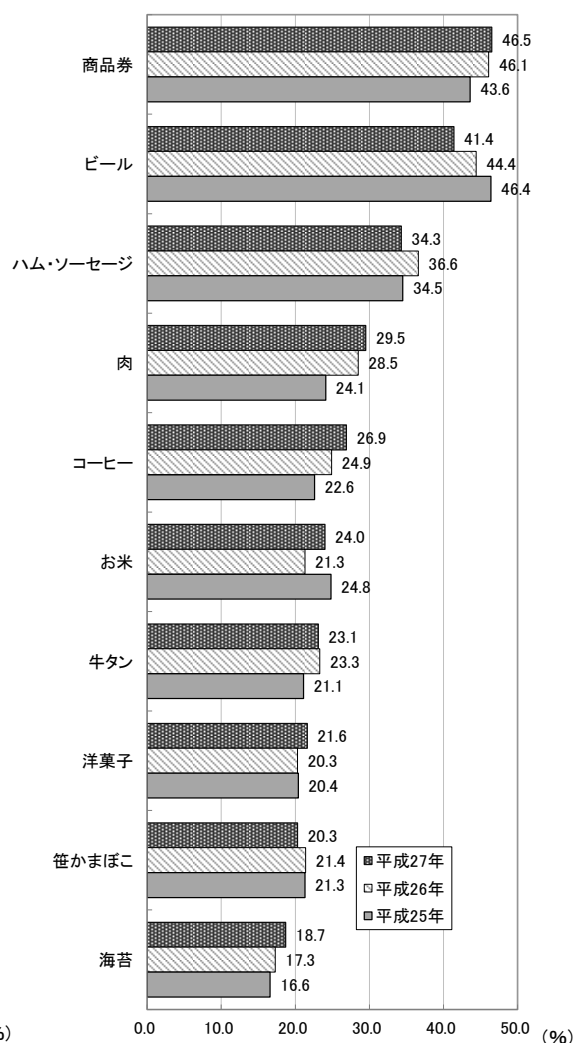
○もらってうれしい“お歳暮”の上位3位は、平成26年調査に引き続き、「商品券」、「ビール」、「ハム・ソーセージ」の3品目である。

○もらってうれしい“お歳暮”について、ここ3年間で比較すると、第1位の「商品券」は漸増傾向に、第2位の「ビール」は、漸減傾向にある。

贈ったお歳暮（上位10位）



もらってうれしいお歳暮（上位10位）

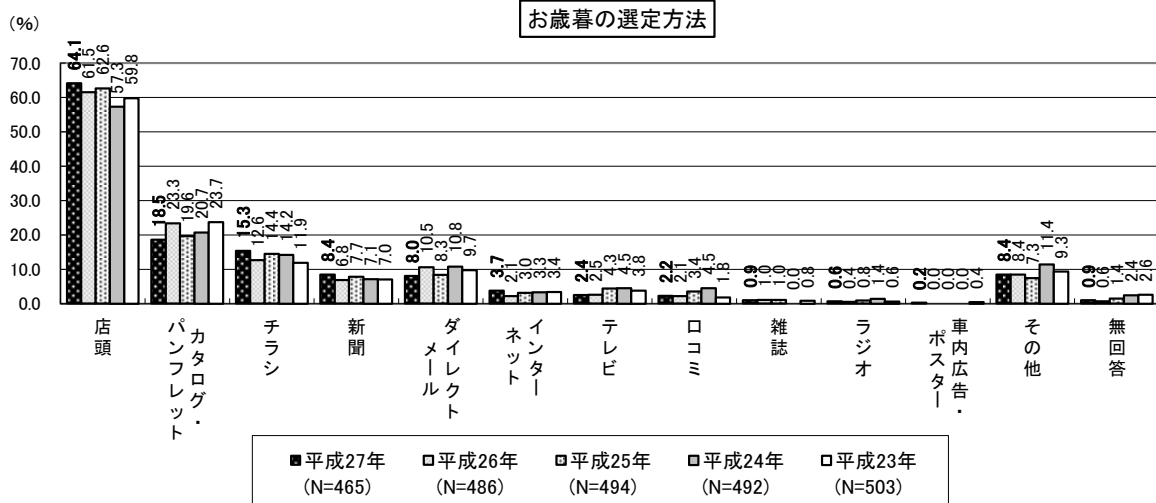


4. “お歳暮”の選定方法（複数回答）

お歳暮の選定方法は、6割の家庭が「店頭」となっている。

○平成27年に贈った“お歳暮”の選定方法の第1位は「店頭」で64.1%と6割に達し、他を引き離して多い。次いで、第2位が「カタログ・パンフレット」(18.5%)、第3位が「チラシ」(15.3%)となっている。

○ここ5年間で比較すると、大きな変化は見られない。

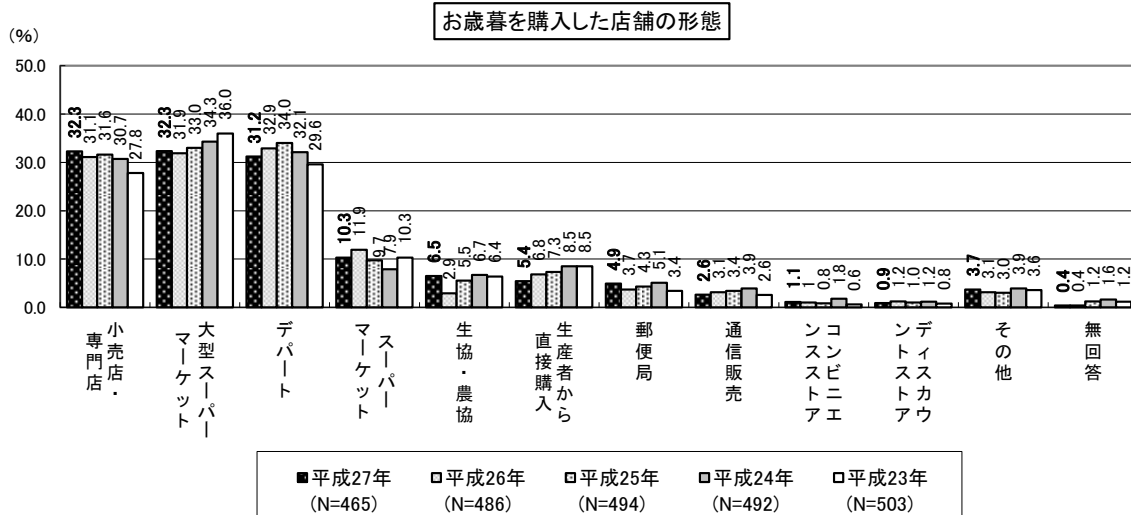


5. “お歳暮”を購入した店舗の形態（複数回答）

購入店舗の形態は、「小売店・専門店」、「大型スーパーマーケット」が同率で第1位となっている。

○平成27年に“お歳暮”を購入した店舗の形態は、第1位が「小売店・専門店」(32.3%)、「大型スーパーマーケット」(32.3%)と同率で並んでいる。第3位が「デパート」(31.2%)となっており、これら3つの店舗形態が3割を超え、他の店舗形態を大きく引き離している。

○「小売店・専門店」は「大型スーパーマーケット」と同率ではあるが、平成13年の調査開始以来、初めて第1位となっている。

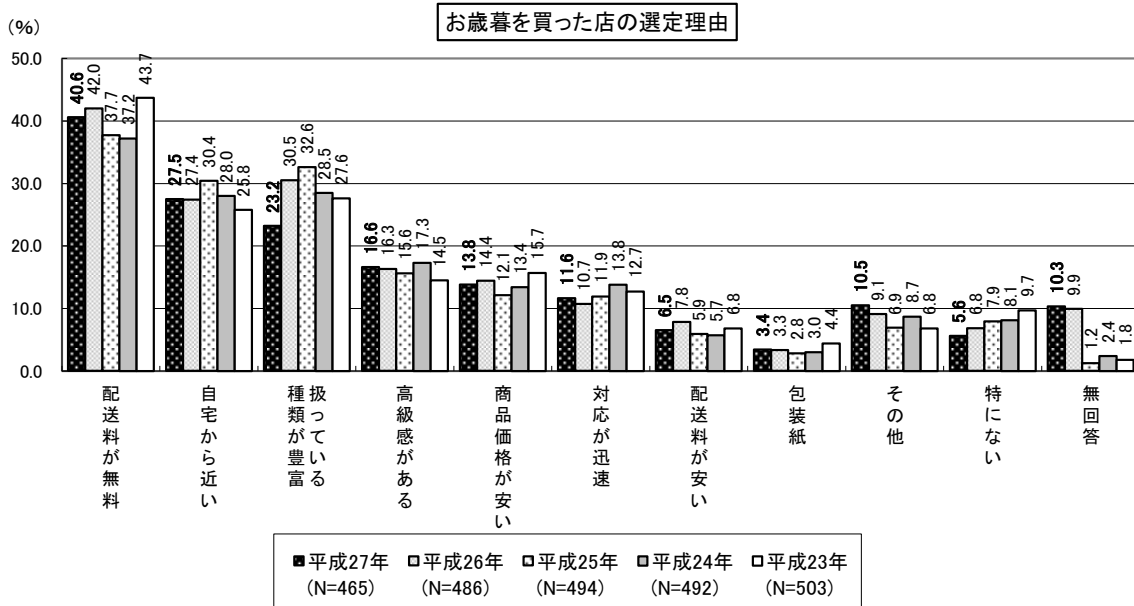


6. “お歳暮”を買った店の選定理由（複数回答）

購入店の選定理由のトップは、今回も「送料が無料」。

○平成 27 年の“お歳暮”の購入先を選んだ理由の第 1 位は「送料が無料」（40.6%）で唯一 4 割を超えている。次に、第 2 位が「自宅から近い」（27.5%）、第 3 位が「扱っている種類が豊富」（23.2%）となっている。

○「扱っている種類が豊富」は平成 26 年度の 30.5%から平成 27 年度の 23.2%へと 7.3 ポイント下降し、第 2 位から第 3 位へと順位を落としている。

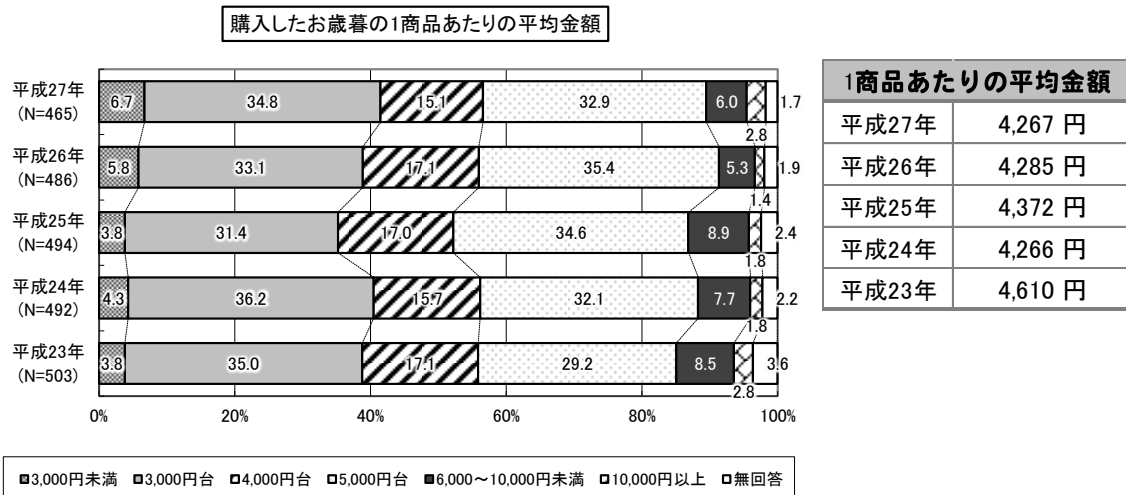


7. 購入した“お歳暮”の1商品あたりの平均金額（数量回答）

1商品あたりの平均金額は、平成26年調査に比べ減少し、4,267円となる。

○平成 27 年に購入した“お歳暮”の 1 商品あたりの金額は、「3,000 円台」（34.8%）が最も多く、次に「5,000 円台」（32.9%）が続いている。

○平成 27 年に購入した“お歳暮”の 1 商品あたりの平均金額は、4,267 円と、前回調査の平成 26 年調査（4,285 円）に比べ、18 円減少した。

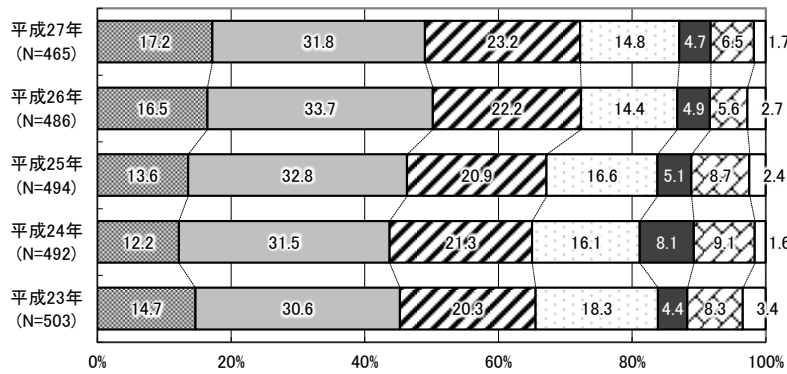


8. 購入した“お歳暮”の総額（数量回答）

お歳暮の総額の平均は、平成26年調査に比べ増加し、20,912円となる。

- 平成27年に購入した“お歳暮”の総額は、「10,000円台」（31.8%）が最も多く、次に「20,000円台」（23.2%）が続いている。
- 購入した“お歳暮”の総額の平均は、今回調査の平成27年に購入した“お歳暮”の総額の平均は20,912円と、平成13年の調査開始以来、最低だった平成26年調査（20,361円）に比べ551円増加した。

購入したお歳暮の総額



総額の平均金額

平成27年	20,912円
平成26年	20,361円
平成25年	22,267円
平成24年	23,136円
平成23年	22,422円

■10,000円未満 □10,000円台 ■20,000円台 □30,000円台 ■40,000円台 □50,000円以上 □無回答

★「お問合せ」

仙台市青葉区本町3丁目2-26 TEL 022 (217) 3021 FAX 022 (217) 3022

E-mail : erc@erc-voice.co.jp <http://www.erc-voice.co.jp/>

株式会社 東日本リサーチセンター 企画調査部 (担当 : 佐藤 貴俊)

禁無断転載